

ているか。

## (5) 分科会

- ① 校長部会～学校管理面。
- ② 教頭部会～現職教育の望ましいありかた。
- ③ 分校主任部会～学習指導と分校経営について。

それぞれの分科会においては、参加者の日頃の問題点がじゅうぶんにだされて、今後の小規模学校経営の指針となる事項が話し合いされ意義ある研究会であった。

最後に文部省初等中等教育局初等教育課文部事務官遠山順一先生の「わが国のへき地教育の実態と今後のありかた」について講演があり会員一同感銘をうけた。

## 2 山村教育研究学校発表会

### (1) 中通り方部

- ① 会場 福島市立中野小学校  
同 大滝分校
- ② 研究主題

山村、へき地、小規模校における管理運営の万全をはかり、児童、生徒の学習意欲を高め、学力の向上をはかるためにはどのようにすればよいか。

### ③ 第1分科会

#### ア 研究主題

「小規模校」分校における事務処理はいかに能率化すべきか。

#### イ 研究発表者

柄白川郡鮫川村立西山小学校長 森田 清  
福島市立梨平小学校 教諭 小田 雄

#### ウ 研究内容

現場の教師は事務に忙迫されているが、事務処理を合理化し能率化することによって、事務労働を軽減し教師本来の仕事にうちこめるようにすることがたいせつである。そのためには、学校事務をあらいだし事務分類によって能率化を図るとか、事務能率の標準化、事務配分の適正化、事務処理機構の合理化等を図ることによって、それぞれの学校の実態に即した解決法をくふうし実践することが肝要であるという結論に達した。

### ④ 第2分科会

#### ア 研究主題

「小人数学級児童、生徒の学習意欲を高めるためにはどのような施策を考えるべきか」

#### イ 研究発表者

福島市立山之内小学校 教諭 目黒 穆 雄  
安積郡熱海町立熱海小学校教諭 先崎 泰

#### ウ 研究内容

教材の精選、児童、生徒の自主性、主体性を導びいていくような学習指導法のありかた、学習訓練、

視聴覚教材の効率的な活用等実践から生まれた貴重な発表があった。

山村における子どもたちは、学習環境条件がわざわざ経験領域もせまいので視聴覚教材の導入を考えていきたい。

### ⑤ 第3分科会

#### ア 研究主題

「へき地性の欠陥を改善するにはどのような配慮をなすべきぞ」

#### イ 研究発表者

岩瀬郡天栄村立湯本小学校教諭 佐久間 修  
伊達郡川俣町立小島小学校校長 黒須 惣助

#### ウ 研究内容

へき地性は、自然的条件と文化的条件の両面からつくられるものであるが、教育という立場では、特にへき地における文化的条件の改善に努力し、とざされた社会になり易い地域社会を、開かれた社会にするように努力する必要がある。

特に、望ましい人間関係をつくりあげることを通して、社会性を養うように努力することがたいせつであるという結論に達した。

### (2) 県南方部

#### ① 期日 10月30日(金)

#### ② 会場 東白川郡鮫川村立西山小学校

#### ③ 研究主題

「山村、へき地、小規模校における学習意欲を高めるために読みの力をどうつけるか」

#### ④ 研究発表

西山小学校教諭 富氷 紀雄

#### ア 意欲的に学習に取りくませるための学習構成

魅力のある学校であるとともに、暖かい教師であり、児童ひとりひとりを励ますことが指導そのものの第1要件と努力した。

#### イ 物的環境構成上に留意していかなければならない。

教室環境については学習の予告板、計画板、各係活動が認められたりする係表、組織表を掲示したり、上掲のくふう、楽しいコーナーを設けるといった配慮が必要である。

#### ウ 意欲をたかめの指導法の改善

主体的に取りくむ学習、目的的学习をねらいとして、一時間一時間の学習において、子どもひとりひとりが明確な目的(課題)をもった学習活動であるようにする。

#### エ 準備のよくうらづけされた学習

教師の準備はもちろん、児童の学習にたいする心構えと学習に必要な準備がたいせつである。

#### オ 学習の個別化を考える。

発問、ノート指導、板書のくふう、導入、作業化